



成田中だより

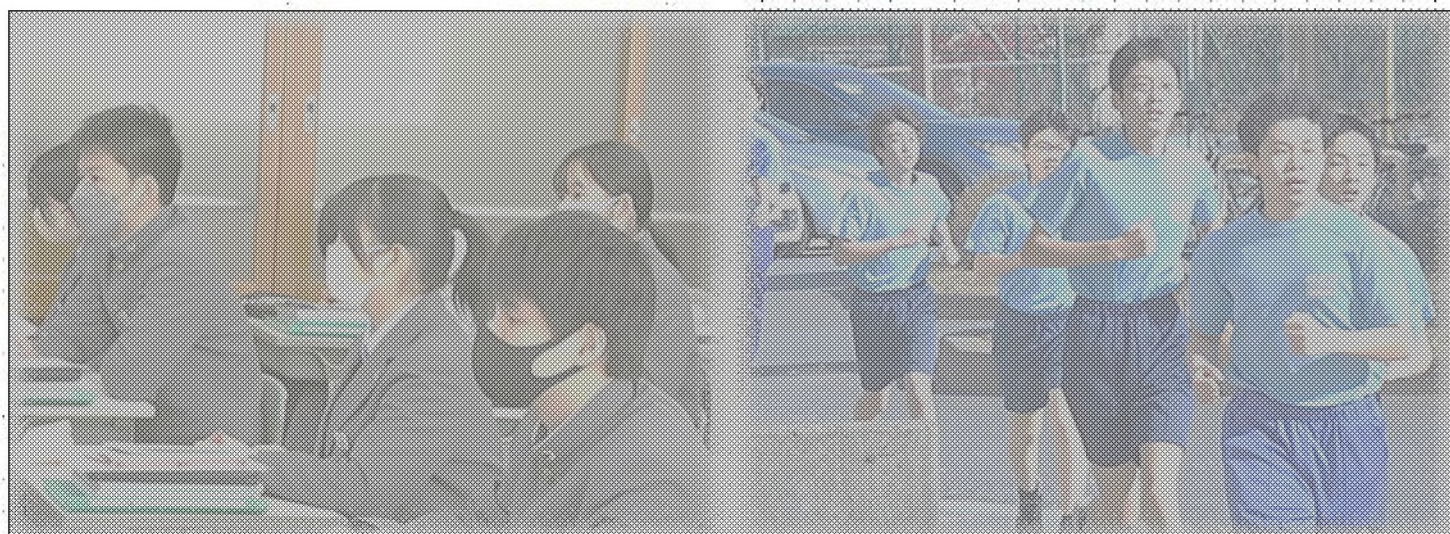
令和6年1月16日
成田市立成田中学校
TEL 0476-22-0304
生徒数 504名
文責 濱谷 昌人

〈令和5年度学校教育目標〉『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

県内私立高校入試開始 ～「厳冬」・・・辛くても充実する季節！

それでも、受験会場にたどり着ければ「よし」です！～



さあ、明日17日（水）より、いよいよ県内私立高校の入試が始まります。寒い中、多くの成田中3年生が受験会場へと向かうことになると思います。最後の最後まで体調管理に気をつけ、どうか力を出し切ってきてください。学校から応援しています。（既に入試が終了した学校もあります。受験を終えた皆さんはお疲れ様でした。緊張したと思いますがよく頑張りました。）

不安な気持ちでいっぱいの人もいることでしょう。当然だと思います。そんな人達に、昨年引き続き、皆さんもよく知っている相田みつをさんの『厳冬』という詩を紹介させていただきたいと思います。

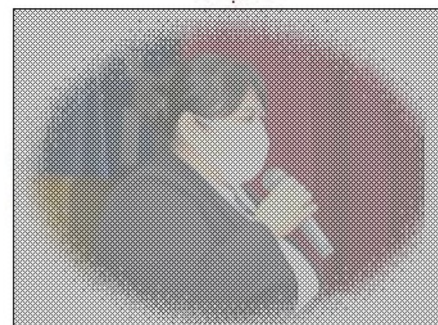
厳 冬 . . .

樹木が余分なものを捨てる季節

樹木が孤独に輝く季節

樹木が黙って根を張る季節

そして一年の中で樹木が最も充実する季節



相田みつと



息子さんで、現在、相田みつを美術館館長を務める相田一人さんが、この詩の解説を次のように書かれています。「父がこれを書いたのは、おそらく50歳前後でしょう。『にんげんだもの』が世に出るのはその10年後のことです。この『厳冬』は、まさに父にとって厳冬の季節に書いたと言えるでしょう。自分の信じている道を歩いているという矜持(きょうじ)・・・類(るい)でいう「プライド」のような諷刺(ふうさ)と、それこそ人間らしい不安の両方が期せずして表れた作品です。」今の皆さんも自分の気持ちと重ね合わせてみて、感じるものはないでしょうか？ちょうど皆さんにとっても今この時期が、人生で初めての『厳冬』の季節に

当たるかもしれません。頑張っているのに、不安で仕方ないことと思います。ここまでコツコツと努力してきた人は、きっと、今まで頑張ってきたという自分自身の矜持(きょうじ)と不安の両方を持ち併せて、受験会場に向かうことになると思います。それでも、相田みつをさんはこの『厳冬』を、辛くても「最も充実する季節」と書いています。不安の中にもありながらも、強い自分になるために、しっかりと根を張ろうとしているのが、まさに今なのでしょう。充実の時期を必死に生きているのだと思います。この詩を書いた10年後に相田みつをさんは、『にんげんだもの』で世の中に知れ渡ることになります。この『厳冬』を乗り切ったからこそ生まれた作品だったのでしょ。皆さんにとって今はきつくとも、それをじっくりと乗り越えていくこと(コツコツと努力して克服していくこと)で、自分らしい未来に必ず繋(つな)ぎつけていくことができます。それを信じて頑張ってください。いよいよ試験に臨むことになります。それぞれが最善を尽くすよう祈っています。

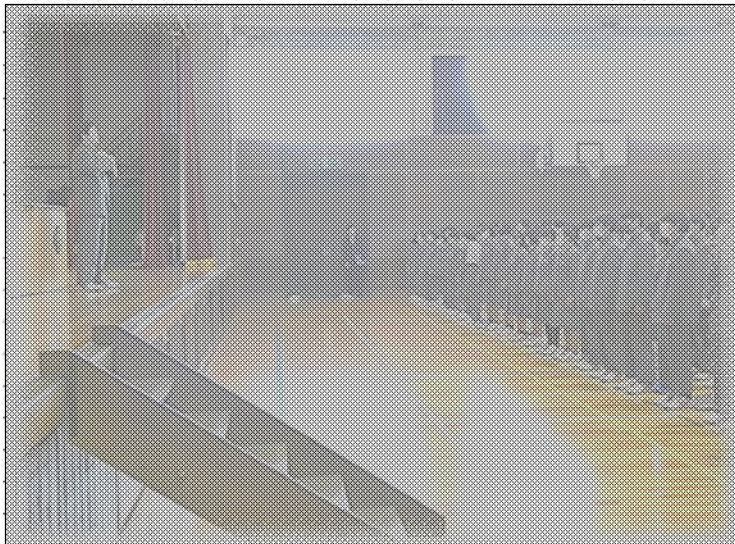
それでも不安で仕方ないという人は・・・・とりあえず、受験会場に足を運んでみてください！自分の席に座って大きな深呼吸をしてみましょう。そして、「恐怖」すら感じたかもしれない受験会場までたどり着いた自分自身を褒めてあげてほしいのです。それだけで十分です。それだけで大きな一歩です。あとは、落ち着いて受験番号と氏名を書いて「なるようになれ！」ぐらいの気持ちで臨んでみてください。不安で仕方ない中、それでも受験会場に到着できたことで、まずは「よし！」としましょう。

【3年職員からの頑張れポーズ♥】 ~皆さんの健闘を祈っています！~



◎誰よりも、担任の先生、3年生の先生が応援しています。安心して受験会場へ向かってください。「Do your best！」人事を尽くして天命を待つ！

有終の美を飾る3学期! ～始業式での意見発表～



始業式の中で、各学年の代表として『意見発表』をしたのは、S.M.さん(1年)、A.M.さん(2年)、そして、K.Y.さん(3年)でした。2学期の終業式に続き、体育館を会場に全校生徒が一堂に会して実施することができて良かったです。全校生徒で気持ちよく校歌斉唱をした後、3人の代表生徒が登壇し、全校生徒を前に壇上から落ち着いて堂々と意見発表をすることができました。その話す姿がとても素晴らしかったです。そして、3人の話を集中して聴く皆さんの態度もまた立派でした。成田中学校らしい、整然とした始業式になったと思います。

3学期を迎えた3人から、勢いのある前向きな意見発表を聴くことができ、久しぶりの学校に少々不安のあった人達も前向きな気持ちになれたのではないのでしょうか。以下に3人の発表を紹介します。

S.M.さん(1年)の「3学期の抱負」

私の3学期の抱負は、『先輩になるという意識を高めていく』ことです。

4月に中学校に入学してから、これまでの多くの場面で、先輩という存在の大きさを感じる機会が多くありました。今でもはっきりと覚えているのは、入学式での美しい歌声にすごく感動したことです。部活動では先輩方の優しい教え方のおかげで、はじめてのことでも短期間で、みるみる上達することができました。委員会活動では、仕事に不安を持ったり、内容をよく理解できていない私達に対しても、温かく教えてくださり、今では自信を持って仕事ができるようになりました。

自信を持つことで、学級委員として学級や学年を引っ張る立場にも挑戦してみたいと思い、その仕事に大きなやりがいを感じることができています。先輩のおかげで…と思っているのは、私だけでなく私達1年生、全員がそう思っているはずですよ。

気がつけば、進級まで残り3ヶ月の時期になりました。私達が尊敬する先輩方のようになるために、そして、私たち自身が尊敬される先輩を目指し、3学期に意識したいことは、規則正しい生活や学校の約束をきちんと守っていくことだと思います。それは、小さなことでも仕事をきちんとしたり、約束を守ることが信頼につながると思うからです。そして、成田中の伝統と言われる歌声を守り続けていきたいです。

私が4月に感じたように、来年度入学してくる1年生が、成田中の凄さを知ってもらえるように努力していきたいです。



A.M.さん(2年)の「3学期の抱負」

2学年、3学期に向けての抱負の1つ目は、係や仕事に責任を持って進んで行くことです。生徒会、委員会、部活動において私たちの学年が、引っ張っていく立場となりました。言われたことをやるのではなく積極的に自ら進んで取り組んでいきたいです。

2つ目は、授業機度を改善することです。先生からの質問があった際や班活動で反応が薄いという課題が

2学年では多くあがっています。授業中の反応をよくし、先生の質問に積極的に答えることで授業内容が深まり、自分たちの理解度も上がります。来年3年生になるということを改めて自覚して、学年全体で意識を高められるよう、努力したいです。

3つ目は、生活習慣を見直すということです。休み時間での過ごし方が悪く怪我をしてしまったり、寝不足で授業中に寝てしまう人がいます。また、感染症予防が不十分で風邪にかかってしまう人も多いです。全員が元気に楽しく学校に来られるよう、学年全員1人1人が少しずつでも生活習慣を見直していけるような学年にしたいです。

これらのことを胸に、これから自分達が学校全体を引っ張っていく立場になるという意識をより強く実感すること。2学年最後の学期を有意義に過ごせるよう、自分の普段の行いを見直すこと。以上のことを2学年3学期の抱負として成長していきたいと思います。



K.Y.さん(3年)の「3学期の抱負」



冬休みの約2週間皆さんはどの様に過ごしていましたか？

いよいよ3学期です。

1、2年生にとっては今の学年の締めくくりの期間であると同時に進級へ向けての準備期間でもあります。

自分の目標を持ち悔いの無い3学期にしていきたいと思います。

私達3年生は、中学校生活最後の学期です。受験という大きな壁が待ち受けています。どんな姿で卒業し、4月にはどんな姿でありたいか、想像してみてください。

そして、そのために何をしなくてはならないのかを考えて生活していきたいと思います。

私には目標が2つあります。まず1つ目は受験に向けての準備です。

受験が近づいているので、体調管理を徹底し、万全な状態で試験に臨めるようにしたいと思います。また、受験までの限られた期間を上手に使い、計画的に学習に取り組んで、自信をつけていきたいと考えています。

2つ目の目標は、中学校生活の最後を充実させることです。残り2ヶ月という短い期間ですが、先生方や家族、3年間を共に過ごした仲間や後輩への感謝の気持ちを忘れず後悔のないよう何事にも積極的に参加し、卒業までの日々を有意義に過ごしていきたいです。

最後に私達3年生は成中生として過ごせるのはあとわずかです。

卒業までに後輩達に何を残せるか、何を残すべきかを3年生一人一人が考え、行動し後悔が無いように過ごし最高の卒業式にしたいと思います。

代表生徒の皆さんの発表はいかがでしたでしょうか。1・2年生は、進級に向け大きく成する3学期にしてくれそうです。そして、3年生にとっては、いよいよ中学校生活最後の学期となります。Kさんの意気込みを聴いて、それぞれが自分自身の進路に向けて邁進すると共に、最高の卒業式を目指して学年全体で充実の3学期にしていくのではないかといい気持ちになりました。3人の発表を聞いて、この3学期も期待せずにはられません。皆さんも、成田中の3人の仲間の素晴らしい意見発表を聞いて、「よし、自分も！」と思ったに違いありません。その、素直で前向きな気持ちが大切です。

さあ、みんなで充実の3学期にして、令和5年度の「有終の美」を飾りましょう！